

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 報告書・体験談フォーム

学部・研究科	総合科学研究科
学年	修士 2 年
トビタテ 期	第 6 期
コース	<input type="checkbox"/> 理系、複合・融合系人材コース <input type="checkbox"/> 新興国コース <input checked="" type="checkbox"/> 世界トップレベル大学等コース <input type="checkbox"/> 多様性人材コース
留学計画のタイトル	世界トップレベルのロンドン芸術大学で クリエイティブシンキングを培う
派遣先・地域・機関	イギリス ロンドン 9ヶ月 セントラルセントマーチンズ大学（ロンドン芸術大学） ファウンデーション課程（アート&デザイン）
期間	2017 年 9 月 4 日 ～ 2018 年 5 月 18 日（ 9 か月間 ）
実践活動の種類	<input checked="" type="checkbox"/> インターンシップ（無給） <input type="checkbox"/> インターンシップ(有給) <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 支援企業コラボインターンシップ <input type="checkbox"/> その他_____
留学プログラム	<input type="checkbox"/> HUSA/USAC <input type="checkbox"/> その他学内プログラム_____ <input checked="" type="checkbox"/> その他___トビタテ留学ジャパン_____
派遣先機関のを見つけ方 コンタクトの取り方	留学先のセントラル・セント・マーチンズは好きなデザイナー、アーティストを多数輩出した学校で、以前から憧れていた美術大学でした。大学 4 年時、16 年 6-8 月にも私費で同大学のショートコースを受講していて、その時に作品審査を受けて合格しました。2 回の留学ともに、ロンドン芸術大学日本公式窓口「ユニバーシティコンサルタンツ」を通して資料請求しました。
留学した理由	大好きなロンドンで大好きなアートやファッションに浸る生活をしたいと思ったこと、それまでの留学で留学先の自由な授業に感銘を受けたので、そこでもっと長期で濃密な時間を過ごしたいと素直に感じたことが大きな理由です。 また、日本の美大入試は技術重視ですが、留学先は作品の完成度ではなく「感覚だけに頼らず、作品コンセプトや製作過程をきちんと言葉で説明できるか」を評価する教育理念でした。そのため、デッサンなどの美術スキルのない私でも十分挑戦できると思いました。また、そもそもアーティストになることを目標とせず、アートを通して身につけられる発想力、発信力に魅力を感じていたため、日本ではなくイギリスでアートを勉強したいと考えました。
留学前体験談 <input checked="" type="checkbox"/> 計画作成のコツ 面接のコツ	留学に至った経緯や、留学先でやりたいこと、それを人生にどう生かしたいか「過去・いま・未来」のストーリーを伝えることを意識しながら書くいいと思います。素直に、力強く、前向きに！

<p>留学中体験談</p> <p><input type="checkbox"/>成功体験</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>失敗体験</p>	<p>最後の1ヶ月間は「インターンシップ(無給)」をしましたが、インターン先が法人ではなく個人だったため、奨学金受給対象の活動と見られず、結果的に奨学生としての留学期間は短縮となりました。インターン自体には満足していますが、制度をフル活用するためには、要項の細かいところまでの確認が必要だということを改めて実感しました。</p>
<p>留学全体の体験談</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>トビタテでよかった事</p> <p><input type="checkbox"/>留学前後で変わったこと</p>	<p>トビタテの魅力は、給付型奨学金というのももちろんですが、そこに集まる人間の魅力の大きさと、事前/事後研修が充実していることです。</p> <p>トビタテ生は志が高く、柔軟な考えができ、様々なタイプの人間がいて面白いです。研修を通して出会ったトビタテ生は、留学中も帰国した今でも遊んだりするほど仲良しです。また、トビタテに関わる大人たちも正直「こんな素敵な人たちが支えてくれているんだ!」とびっくりしました。</p> <p>また、事前/事後研修がかなり濃密で、事前課題やワークを通して留学での学びをより深いものにすることができるし、ヤンググローバルリーダーなどの講演を聞く機会もあります。このように、留学以外にも自分の視野、感性を広げてくれる機会にも恵まれています!</p>
<p>広大生にひとこと</p>	<p>「海外で〇〇をやってみたい!」という素直な気持ちを応援してくれる、こんなに強力なバックアップ体制揃った奨学金はトビタテの他にないです! 私たちOB・OGも計画の相談や面接練習などのサポートはしたいので、思い切って挑戦してみてください(^ ^)!</p>



左：グループワークメンバー



右：マクドナルド。大体どの店舗にも置いてあるクレジットカード用オーダー機械。キャッシュレス社会を感じた。



左：テムズ川沿いの景色。セントポール寺院と「ハリーポッター」でディメンターに壊される橋。



右：こういった工具も使いながら作品作りをしました。他にも鉄の溶接などもしました。



左：建築の授業で。竹ひごを使って、自立する形を作る授業。



右：レバノン料理。料理がまずいイメージのロンドンですが、日本にはない美味しい多国籍料理が沢山ありました。